

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

会議の名称	第 6 回加須市魅力ある学校づくり審議会
開催日時	令和 8 年 7 月 1 日（水） 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 4 0 分まで
開催場所	加須市役所 本庁舎 5 階 5 0 5 会議室
議長氏名	福田 康宏会長
出席委員	福田 康宏会長、二階堂 朝光副会長、飯田 亜貴子委員、 江森 藤久委員、風間 啓委員、関根 憲夫委員、石川 安則委員、 羽鳥 善治委員、石原 肇委員、町田 彰委員、尾高 幸江委員、 市川 邦夫委員、南條 みぎわ委員、砂川 瞳委員、大澤 美和子委員、 山村 一久委員
欠席委員	内田 親委員、芳賀 英暢委員、清水 尚雄委員、外山 真衣委員、 砂川 瞳委員
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 （1）第 5 回審議会のおさらい （2）基本計画（骨子案）について （3）ブロック（エリア）分け候補案及び学校再編の具体案の検討における必要な視点について【グループ協議】 （4）今後の取組について 4 閉会
会議資料の名称	・次第 ・議題（1）関係 資料 1 第 5 回審議会のおさらい 別紙 第 5 回審議会意見シート 主な意見等 ・議題（2）関係 資料 2 基本計画（骨子案） 資料 3 基本計画（骨子案）概要版 ・議題（3）関係 資料 4 グループ協議資料 ・議題（4）関係 資料 5 今後の取組について 資料 6 基本計画（骨子案）に対する意見募集の実施概要

会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	5人
説明者の職・氏名	魅力ある学校づくり推進室長 鈴木 大輔
事務局職員職・氏名	生涯学習部長 野中 裕、学校教育部長 渡邊 典孝、 学校教育課長兼指導主事 高橋 一也、教育総務課長 矢部 良貴、 魅力ある学校づくり推進室長 鈴木 大輔、同室主査 渡邊 圭佑、 同室魅力ある学校づくり推進専門員 杉田 勝
会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要な事項	

様式第 3 号（第 8 条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局	1 開会
福田会長	2 会長あいさつ
事務局	以後の議事進行については、福田会長にお願いしたい。
福田会長	3 議題 議題（１）第５回審議会のおさらいについて、事務局から説明をお願いします。
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長	（資料に基づき説明）
福田会長	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。 （意見等なし）
福田会長	続いて、議題（２）基本計画（骨子案）について、事務局より説明をお願いします。
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長	（資料に基づき説明）
福田会長	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。 （意見等なし） 続いて、議題（３）ブロック（エリア）分け候補案及び学校再編の具体案の検討における必要な視点をテーマとしたグループ協議に移らせていただく。 本日のグループ協議では、大きく二つのテーマについて協議をしていただきたい。 一つ目は、これまでも協議を重ねてきた「ブロック分け候補案」についてである。

	今後 20 年の学校別児童生徒数の将来推計を含め、基本計画（骨子案）でまとめた考え方を踏まえ、4つのブロック候補案について、改めてご協議いただきたい。 二つ目は、「学校再編の具体案の検討における必要な視点」についてである。 骨子案の次のステップとなる基本計画（素案）では、ブロックごとに再編の対象となる学校や実施時期など、より具体的な再編案を整理していくことになる。 本日は、その検討につなげていくための協議として、どのような視点や考え方を重視すべきか、皆さんからご意見をいただきたい。 委員の皆さんそれぞれの立場から活発な意見交換が交わされるよう、協力をお願いしたい。 グループ協議には私と二階堂副会長も参加するため、グループ協議終了までの進行を事務局をお願いしたい。
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長	（グループ協議の進め方について説明） それでは、グループ協議を開始する。
各委員	（3グループに分かれ、グループ協議）
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長	それでは、各グループからの発表に移りたい。 まずAグループから願います。
Aグループ （石川委員）	「ブロック分け候補案」については、当初4つの案に意見が分かれたが、次第に児童生徒数が減少するならば、ブロックを少なくする方向となるのではないかという視点から、候補案③（5ブロック）または候補案④（4ブロック）に意見が絞られた。 その際、「候補案④はCブロック（昭和中学校区、加須東中学校区及び加須平成中学校区）内の児童生徒数が多いので、候補案③の方が望ましいのではないか」という意見があがった。 また、各候補案のAブロック（北川辺中学校区）については、「児童生徒数が少ないので小中一貫教育を導入する」、「外国にルーツを有するこどもが多いことから、英語教育の特色を持たせる」といった、モデル地域として新しい取組の導入に関する意見が出た。

Bグループ (江森委員)	さらに、Aブロックの再編に伴う校舎の建替えや移転に関する議論では、「利根川に近いという水害リスクを踏まえ、地域の防災拠点としての視点を含めた学校づくりを検討すべき」との指摘もあった。 このほか、各候補案におけるブロックが広域であり、児童生徒の居住エリアも一か所に集中しているというわけではない点を踏まえると、スクールバスの利用を検討する必要がある。 その際、本市の工業団地では栗橋駅から企業の送迎バスを利用する従業員が多いことから、「時間帯をずらすことで企業の送迎バスとスクールバスを使い分けることもできるのではないか」という具体的な提案もあった。 まず、「ブロック分け候補案」について、現状の中学校区や行政区をベースとした候補案①（7ブロック）と候補案②（6ブロック）に関しては、「こどもたちの教育の継続性や地域とのつながりが保たれるのではないか」という意見が出た。 学級数が多い大規模の学校の児童と複式学級がある小規模の学校の児童がうまくなじめるかという懸念から、「候補案②であれば、教育の継続性を担保しつつ、再編を進めていくことができるのではないか」という声もあった。 候補案③と候補案④は、各ブロックともかなり広域となるため、ブロック内で再編を進めながら、長期的に学校を維持できる規模を確保できると考える。 また、再編により使われなくなった学校施設の利活用といった視点も含めて、候補案を検討する必要があるとの指摘があった。 次に、「学校再編の具体案の検討における必要な視点」としては、小学生の通学時間・距離が最大の問題となることから、スクールバスの導入を考えていく必要がある。 現状でも、保護者の方が直接送迎している家庭もあり、そういった状況も含めて考えなくてはいけない。 優先度という視点では、大越小学校のように複式学級を編制している学校は急務であり、児童数の少ない学校は優先度として高いと考える。 一度再編をしたものの、再び再編をする必要が生じるということも考えられるため、20年後どうなるのかといった視点も含めて検討しなくてはいけない。 各小・中学校で、教育の進め方や地域とのつながりも異なるので、
-------------------------	--

Cグループ (山村委員)	地域の融合も含めて考えなくてはいけない。 また、こどもが少なくなるから学校を再編するというだけでなく、過疎化が進む地域で、どうしたらこどもの数を増やしていけるかなど、様々な視点から議論をしていかないと解決できないのではないかな。 「現状の学校を残すべき」という意見もあったが、「教員の確保という観点から、現状を維持できるのか」という声もあった。 様々な意見があり、まとめるまでは至らなかった。 まず、「ブロック分け候補案」について、再編に当たり、南北・東西にかけて検討の柔軟性があるという点で、候補案③を支持する意見が多かった。 優先度4、5の学校は、ある程度児童生徒数が安定しており、それ以外の学校をどう再編していくかということを考えると、候補案③が望ましい。 また、河川や公共交通機関をまたがないという点も考慮する必要がある。 一方で、「これまで育まれてきた地域性、行政区の取組を考えると、現行の中学校区を基にした候補案②も重要だ」という意見もあった。 例えば、防災に関わる取組なども新たに再編しなくてはならないという課題がある。 次に、「学校再編の具体案の検討における必要な視点」については、「社会性を身に着けるためにはある程度の数が必要であるという考えから、児童生徒の経験の格差を解消していくことが重要」といった意見があった。 したがって、優先順位1～3の学校は、早急に取り組む必要があると考える。 また、別の視点として、特別支援学級の児童生徒にも配慮しなくてはならない。 どの候補案においても、Aブロック（北川辺中学校区）についてはそのままということになるが、現状や将来推計から児童生徒数の減少は免れない。 小中一貫校や義務教育学校としても、児童生徒数は減少していくとすると何のための再編なのかということになるので、都市計画の視点も重要となる。 スクールバスとなったときは、それなりの道路整備やバスを受け入れるだけの敷地の確保・整備も必要となる。
-------------------------	---

	また、地域性も違う子どもたちが一つの学校に集まるので、何らかのトラブルの発生なども予想される。 よって、再編が想定される学校においては、人間関係プログラムや人権教育などの準備や事前の交流会を行うといったことも考える必要がある。
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長	長時間にわたるグループ協議において、多岐にわたる意見をいただき感謝する。 グループ協議を通して、まちづくりや防災、スクールバスなどの課題も見えてきた。 これから実施する意見募集で明らかになる課題も含めて、さらに協議を深めながら、計画を形にしていきたい。 グループ協議が終了したため、議事進行を会長にお戻しする。
福田会長	議題（４）今後の取組について、事務局より説明をお願いする。
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長	（資料に基づき説明）
福田会長	ご質問・ご意見があればお願いしたい。 （意見等なし）
福田会長	議題は以上で終了となる。 本日出た意見は、事務局でよく整理し、適切に対応されたい。 事務局より追加説明はあるか。
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長	（意見シートの提出について依頼するとともに、次回日程は８月上旬を予定しており、日程や会場等が決まり次第委員に通知することを説明。）
福田会長	以上で本日予定していた議事はすべて終了した。 これにて本日の議長の任を降りさせていただく。
事務局	閉会のあいさつを二階堂副会長にお願いしたい。

二階堂副会長	(閉会のあいさつ) 4 閉会
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和 8 年 7 月 15 日 署名 <u>福田康宏</u>	